

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 332

政策体系	14	事業分類	ソフト事業	所管部局	市民部 国保医療課
会計	一般会計	科目	4. 衛生費 - 1. 保健衛 - 2. 予防費 現年		
事業名	後期高齢者保健事業				
細事業名	後期高齢者保健事業				
評価表作成者				市民福祉部 保健医療課	奥村 秀臣

1. 事業の概要

後期高齢者医療の被保険者（75歳以上又は障がい認定を受けた65歳以上の方）に対し、人間ドック受診費用の一部を助成した。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

市民が生涯を通じて健康で安心して自立した生活をするための事業。
後期高齢者医療被保険者が自ら受診する短期人間ドックの費用補助。

② 事業を実施する必要性

市民が生涯を通じて健康で安心して自立した生活を送るためには、病気になるまでの予防が必要です。加齢による体調の変化等を人間ドックの受診により早期に見極め予防や早期の治療により高齢者の方がいつまでも健康で安心して暮らせる社会を実現するためには必要不可欠な事業である。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円		419	1,448	1,746	1,600	2,000	2,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円		0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	405	1,448	1,746	1,600	2,000	2,000
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	14	0	0	0	0	0
職員等の従事人員	人/年	—	0.25	0.13	0.32			
人件費	千円	—	1,719	887	2,231			
事業費総額	千円	—	2,138	2,335	3,978			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

短期人間ドック補助金 1,746,350円

5. 事業結果の概要

受診者数 57名
助成件数 57件

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

更に受診啓発を行い対象者の健康意識を高め、高齢者の生活の質の向上に努めたい。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

人間ドック受診の利用広報を行い、健康意識を高め、受診者増加による医療費の抑制につなげる努力を続ける必要がある。

■平成21年度の所属長評価

- ①事業執行にあたり議論を重ねた点
事業の必要性
- ②当該事業のアピール事項
広報、前年度国保被保険者の人間ドック受診者への個別通知
- ③反省点、今後の展開・方向性等
健康意識を高め、受診者増加のための制度周知・広報を実施し、医療費の抑制につなげる